

変わらぬ煌めき 里山に舞うヒメボタル

6月中旬、五十崎地域の里山で撮影したヒメボタルです。

日が暮れ始めると、鳥居の周りに小さくてかわいらしい光の点滅が1つ、2つと見え始めてきました。午後8時を過ぎると無数のヒメボタルが乱舞し、同調するように光を放ちます。そのたびに草花や木々が浮かび上がり、まるで森が呼吸をしているようです。

ヒメボタルは水辺に住むゲンジボタルやヘイケボタルとは違い、人の目につにくい雑木林や竹林に生息しています。「森のホタル」とも呼ばれます。内子町では多くの場所で確認されていますが、知らない人も多いそうです。年に数日、初夏の夜になると人知れず美しく舞っているヒメボタル。昔から変わらず静かに続く光景は、ふるさとには私たちが知らない輝きが、まだまだたくさんあることを教えてくれます。

写真：20秒間撮影した写真を30枚重ねたもの